

20230130

第2回近畿圏広域地方計画有識者会議 コメント

橋爪紳也

大阪府特別顧問／大阪市特別顧問

万博首長連合顧問

大阪公立大学 研究推進機構特別教授

大阪公立大学 観光産業戦略研究所所長

イベント学会副会長／IRゲーミング学会副会長

(一社) 日本ディスプレイ業団体連合会理事

大阪商工会議所 ツーリズム振興委員会副委員長

大阪商工会議所 都市再生委員会副委員長

大阪市都市計画審議会会長

国土の再都市化

- 第1の都市化 明治～大正 都市機能の革新
近代国家にふさわしい産業都市の建設 近代化
- 第2の都市化 大正～高度経済成長（人口増／郊外化）
国土計画と都市圏計画の親和性 東海道メガロポリス
- 第3の都市化 国土全体の都市化
均衡ある発展、都市的ライフスタイルの普及
- 第4の都市化 中心都市への再集積 都心重点化
空洞化した都心の価値向上 エリアマネジメント
リ・アーバナイゼーション 「再都市化」
- 課題 「都市化」をめぐる対立軸の解消
集積／分散 効率／均衡 密集／疎住

次期近畿圏広域計画に向けて

- 1 国土における近畿圏の担う中枢性 双眼構造／文化首都
- 2 圏域のリノベーション
 - ・近畿圏域の再都市化とリノベーション
 - ・大都市圏の拠点の再再開発
- 3 都市基盤の更新とマネジメント
 - ・国土の強靱化／DX化の促進
 - ・次世代型のインフラの創案と普及

次期近畿圏広域計画に向けて

4 新たな都心と新たな郊外の連携

- ・ 次世代型の疎住都市／新たなニュータウン
- ・ 「都市の磁力／田園の磁力」の再創造

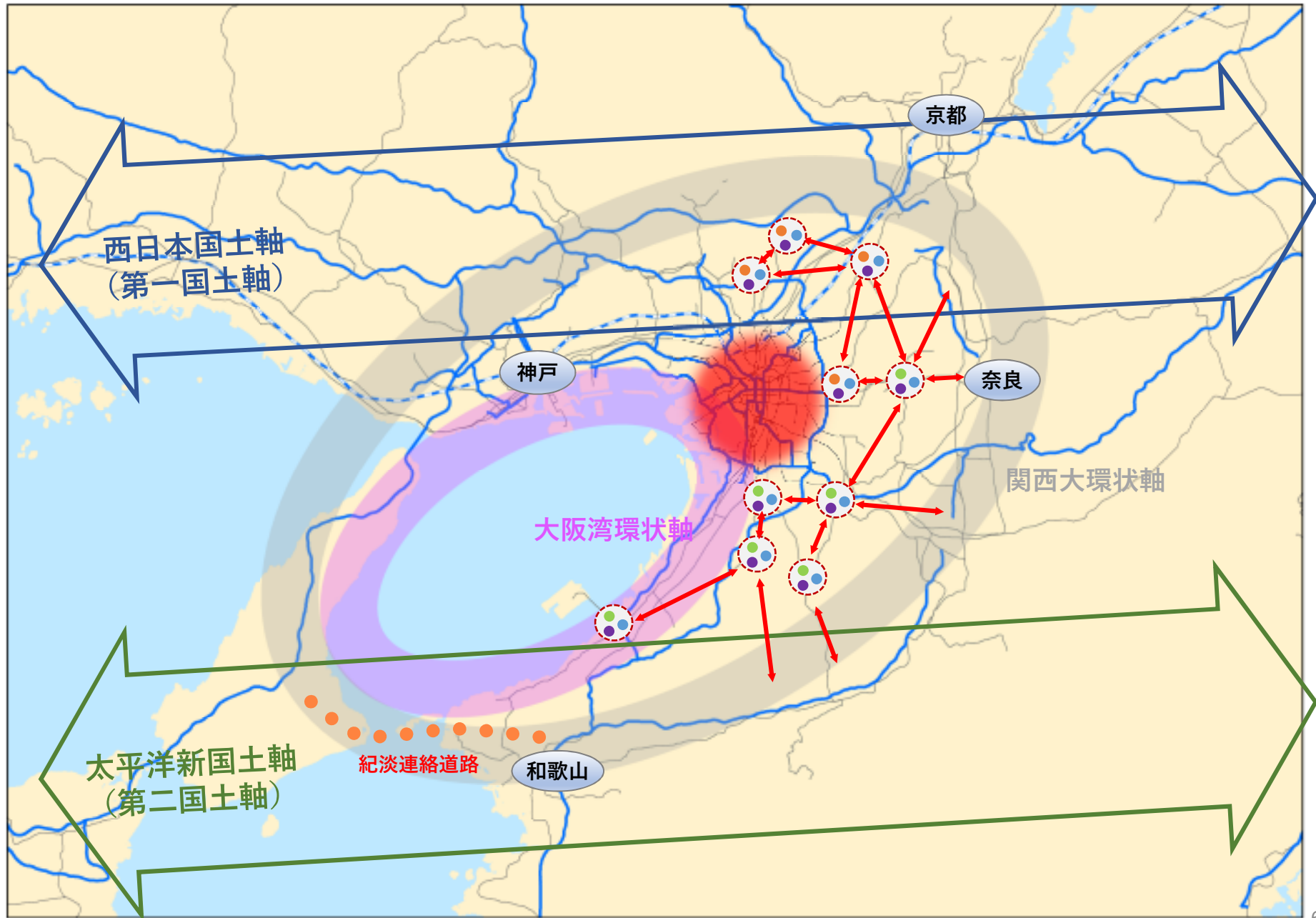
5 水運復活を契機とした広域観光圏の再創造

- ・ 治水と賑わい創出を融合 **水都大阪のエクステンション**
- ・ 大阪湾ベイエリア～淡路～瀬戸内海
- ・ 大阪～淀川～伏見 京都～琵琶湖
- ・ 官民による琵琶湖舟運の再創造

次期近畿圏広域計画に向けて

以下、「大阪のまちづくりグランドデザイン」の概要

大阪都市圏の将来の都市構造のイメージ（橋爪提案）



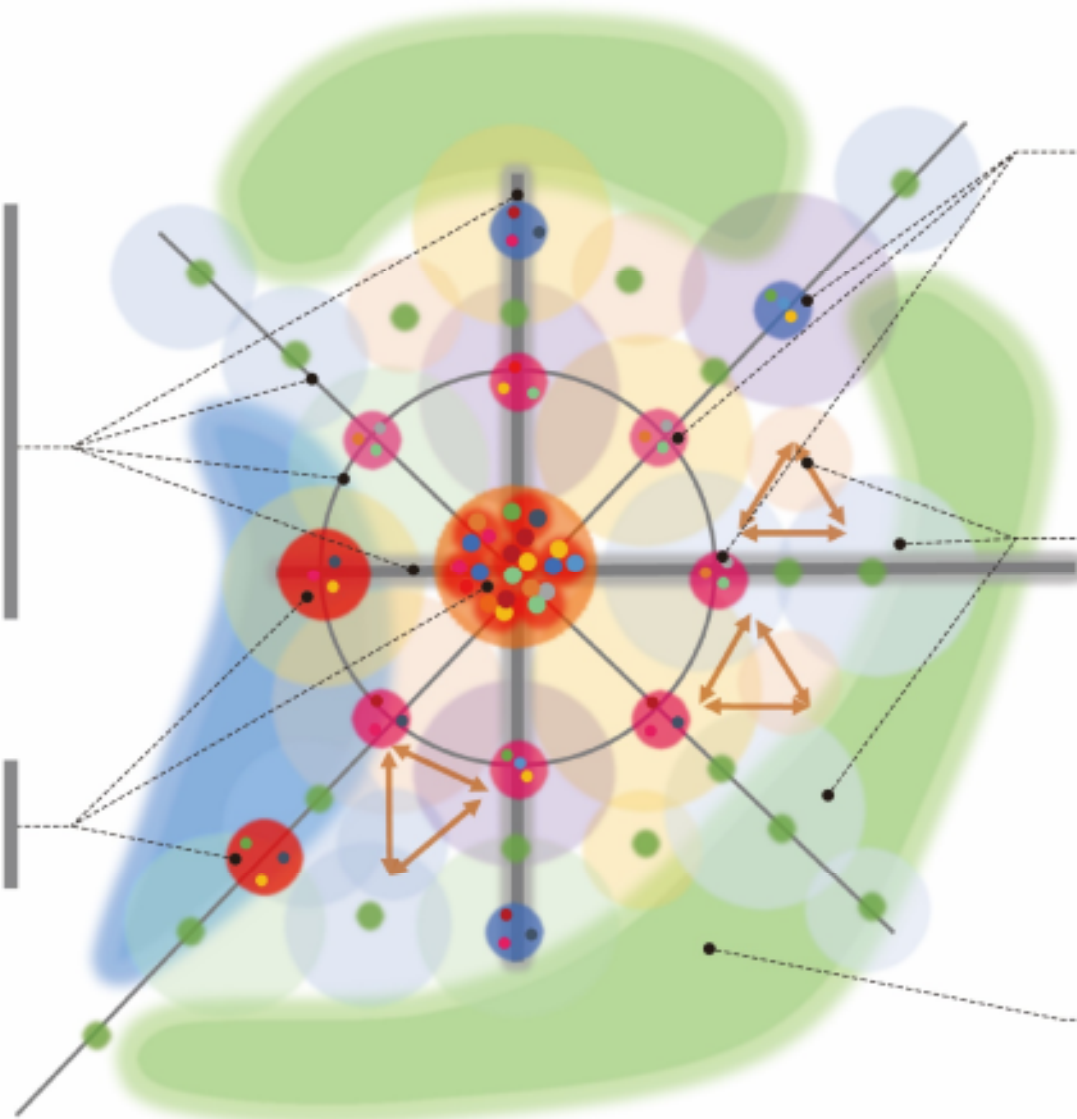
【マルチハブ＆ネットワーク型都市構造の形成】

出典「大阪のまちづくりグランドデザイン（大阪府、大阪市、堺市）」

交通ネットワークの強化やネットワークを活かしたまちづくりにより、都市軸を強化

新大阪の拠点性向上、広域交通ネットワークの強化及び連携したまちづくり等により、東西・南北都市軸を強化

都心部やベイエリアにおける国際競争力を備えた拠点エリアを形成



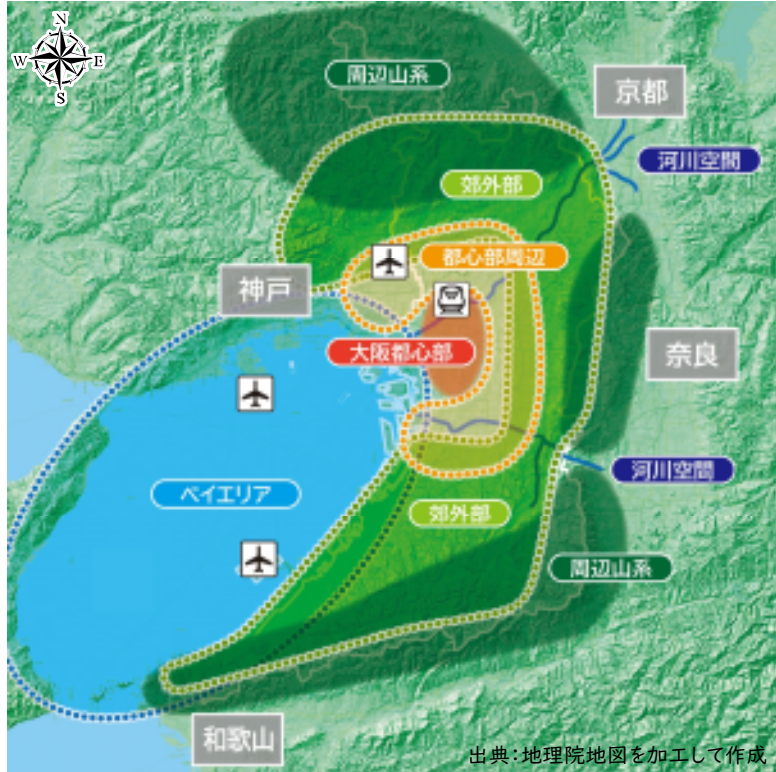
多様な都市機能を備えた府域の中核を担う拠点エリアを形成

主要な駅周辺や生活の中心となる場への都市機能の集積など、集約型の歩いて暮らせるまちづくりを推進

みどり豊かな環境と都心部等へのアクセス性を活かし、魅力あるまちづくりを推進

③ 府域のゾーニング

土地利用や人口・都市機能の集積状況等を踏まえ、以下のようにゾーニングを設定



出典：地理院地図を加工して作成

大阪都心部

- ・概ねJR大阪環状線に囲まれたエリア及び新大阪駅周辺に至る地域。
- ・高度なビジネス機能や多彩なエンターテインメント機能をはじめとした多様な都市機能が集積した、世界で存在感を発揮するゾーンの形成が求められている。

都心部周辺

- ・概ね大阪都心部の境界から、大阪中央環状線を越えて広がるエリアで、大阪市中心部から概ね15km圏に位置。
- ・多様な都市機能や地域資源が集積するメリットを活かし、多様な都市居住ニーズに対応するとともに、リニア・北陸新幹線開業のインパクトも見据え、都心部と一体となって大阪の成長・発展をけん引するゾーンの形成が求められている。

郊外部

- ・概ね大阪中央環状線から、周辺山系に至るまでの地域。
- ・都心部や周辺の主要都市へのアクセス性が高く、豊かな自然環境等を有するという大阪ならではの郊外のメリットを活かし、多様な働き方・暮らし方を実現できるゾーンの形成が求められている。

ベイエリア

- ・大阪市から岬町に至る臨海部・沿岸部や地先水面など。
- ・世界・アジアとつながるゾーンとして、国際競争力の強化とともに、多様な地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められている。

河川空間

- ・淀川水系や大和川水系をはじめとした河川・河川敷やその沿川を対象としたゾーン。
- ・海と山麓、沿川の府県や市町村をつなぐゾーンとして、水辺空間をはじめ、魅力ある地域資源を活かした広域連携の取組により、エリア全体の魅力向上を図っていくことが求められている。

周辺山系

- ・北摂山系、生駒山系、金剛山系、和泉葛城山系や、麓の農空間等も含むゾーン。
- ・都心部との近接性を活かし、多様な歴史・文化資源や自然環境を活かした広域連携の取組により、多彩なコンテンツを楽しめるゾーンの形成が求められている。

大阪を取り巻く都市構造

① 広域的な都市構造

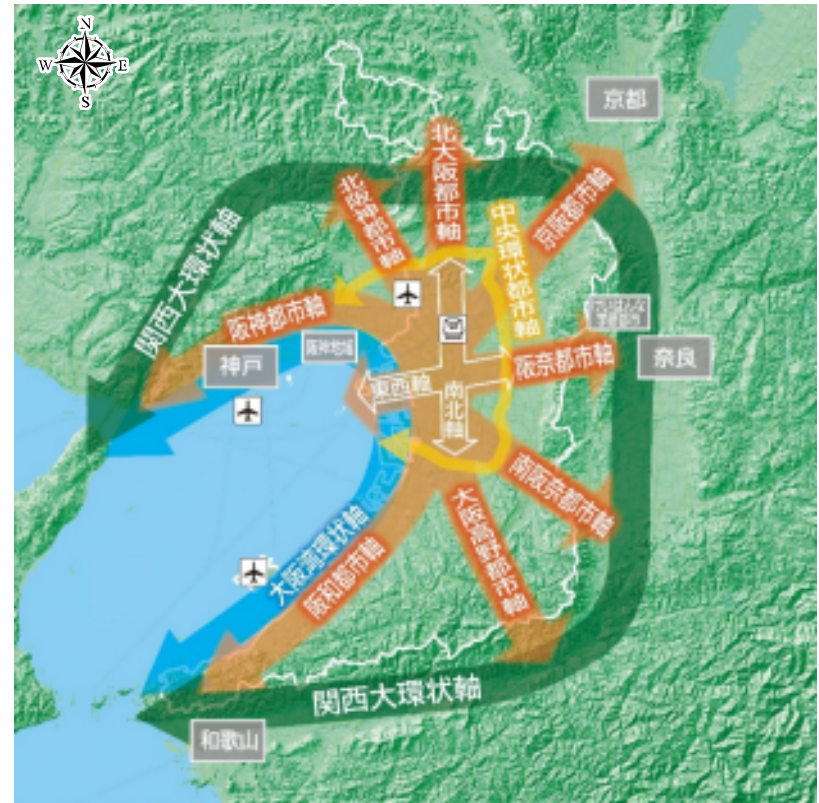
大阪都心部を中心として、西日本国土軸・太平洋新国土軸や大阪湾環状軸・関西大環状軸、空港・港湾・新幹線等の広域交通インフラ等で構成される広域的な都市構造を有している。



② 府域の都市軸

大阪都心部から放射・環状方向に発達した鉄道や幹線道路の交通ネットワークを中心に、多様な都市機能が集積し、都市軸を形成している。

主な都市軸として、都心部を貫く東西・南北の都市軸や、都心部から放射方向に広がる各都市軸に加え、人口や都市機能が集積する中央環状都市軸を位置付けている。



戦略 成長・発展をけん引する拠点エリアを形成

2) 大阪の中核を担う拠点エリア

北部大阪 中核エリア ※千里中央駅を中心に、箕面萱野駅、万博記念公園駅等を含むエリア

北部大阪の成長・発展をけん引するエリア



千里中央地区 広場整備イメージ
出典：千里中央地区活性化基本計画



箕面船場地区まちづくり拠点施設 提供：箕面市



万博記念公園駅前アリーナ等イメージ 提供：大阪府

北阪神都市軸 活性化エリア ※豊中駅、池田駅、大阪国際空港等を含むエリア

北阪神都市軸の発展を担うエリア



池田駅前活性化プロジェクト 提供：池田市



服部緑地イメージパース 提供：大阪府

京阪都市軸北 活性化エリア ※岸辺駅、千里丘駅、茨木駅、茨木市駅等を含むエリア

京阪都市軸（北側）の発展を担うエリア



茨木市市民会館跡地エリア活用 提供：茨木市



JR千里丘駅西地区市街地再開発 提供：摂津市

東部大阪 中核エリア ※東大阪市中心市街地を含むエリア

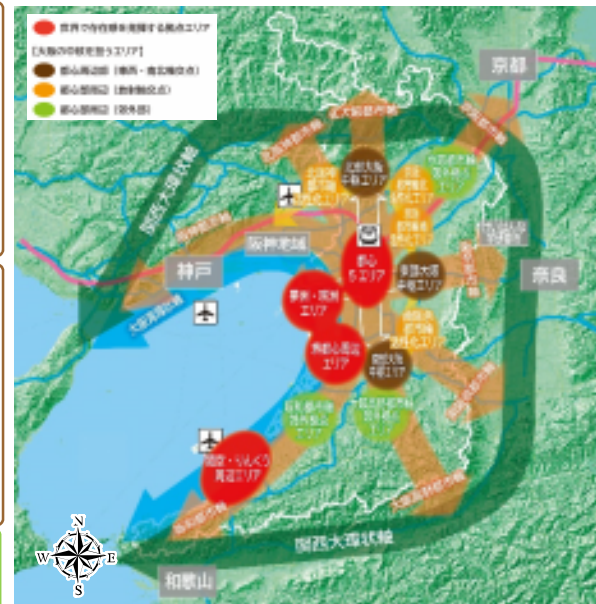
東西都市軸の強化・発展を担うエリア



大阪モノレール（仮）荒本駅イメージ 提供：大阪府



東大阪市版エコシステム 提供：東大阪市



京阪都市軸南 活性化エリア ※守口市駅、大日駅、門真市駅、門真南駅、寝屋川公園駅等を含むエリア

京阪都市軸（南側）の発展を担うエリア



門真市古川橋駅北地区 提供：門真市



寝屋川公園駅周辺での魅力あるまちづくり 提供：寝屋川市

南部大阪 中核エリア ※中百舌鳥駅周辺、美原、河内松原駅等を含むエリア

南部大阪の成長・発展をけん引するエリア



中百舌鳥イノベーション創出拠点イメージ（駅前） 提供：堺市



三宅西土地地区画整理事業 イメージ（産業機能誘導） 提供：松原市

南阪奈都市軸 活性化エリア ※八尾空港周辺、柏原駅、藤井寺駅、古市駅、南阪奈道路沿線等を含むエリア

南阪奈都市軸の発展を担うエリア



八尾空港西側跡地まちづくり イメージ 提供：藤井寺市




八尾富田林線整備と併せた 大和川の河川空間オープン化 イメージ 提供：柏原市

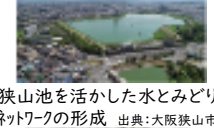
出典：八尾空港西側跡地まちづくり構想（案）を 沿道まちづくりイメージ 提供：藤井寺市

大阪高野都市軸 郊外拠点エリア ※泉ヶ丘駅～光明池駅、金剛駅、河内長野駅等を含むエリア

泉州・南河内地域の核となるエリア




近畿大学医学部・病院イメージ図 提供：近畿大学



狭山池を活かした水とみどりのネットワークの形成 出典：大阪狭山市HP



小山田西地区イメージパース 提供：河内長野市



金剛駅周辺まちづくり 出典：金剛地区施設等再整備基本構想

京阪都市軸 郊外拠点エリア ※高槻市中心市街地及び枚方市中心市街地を含むエリア

大阪・京都間の中心機能を担うエリア



高槻城公園 提供：高槻市



枚方市駅周辺再開発 提供：枚方市

阪和都市軸 郊外拠点エリア ※和泉中央駅、和泉府中駅、泉大津駅、岸和田駅、貝塚駅等を含むエリア

泉州・ベイエリアの核となるエリア



泉州山手線整備に併せた モビリティ・ハブの整備イメージ 提供：産和田市



せんごくの杜のまちづくり 提供：貝塚市



和泉中央駅周辺の整備イメージ 提供：和泉市

戦略 人・モノ・情報の交流を促進

1) 交通インフラと連携したまちづくり

① 道路ネットワークの機能強化と沿道まちづくり

都市の骨格となる道路ネットワークの充実・強化を図るとともに、幹線道路沿道のポテンシャルを活用し、幹線道路の整備との連携等も図りながら、まちづくりを推進する。また、既存のインフラストックの効果的な活用を促進する。

《道路ネットワークの機能強化》



《幹線道路沿道まちづくり》



交野市星田北地区



門真市北島東地区

《既存道路ストックの効果的な活用》



民間施設直結スマートIC
出典:国土交通省

出典:高規格道路・一般広域道路・構想路線は、「近畿ブロック 新広域道路交通計画(令和3年7月 近畿地方整備局)」より作成

大阪都市計画局が取り組む4つの広域拠点

大阪全体の発展を支えるまちづくりについて、これまでも府市一体の取り組みで進めてきた4つの拠点を「広域拠点開発」として位置づけ、計画策定から事業推進までの一連の過程を、大阪都市計画局がより強力かつ効果的に実施。



提供：うめきた2期地区開発事業者



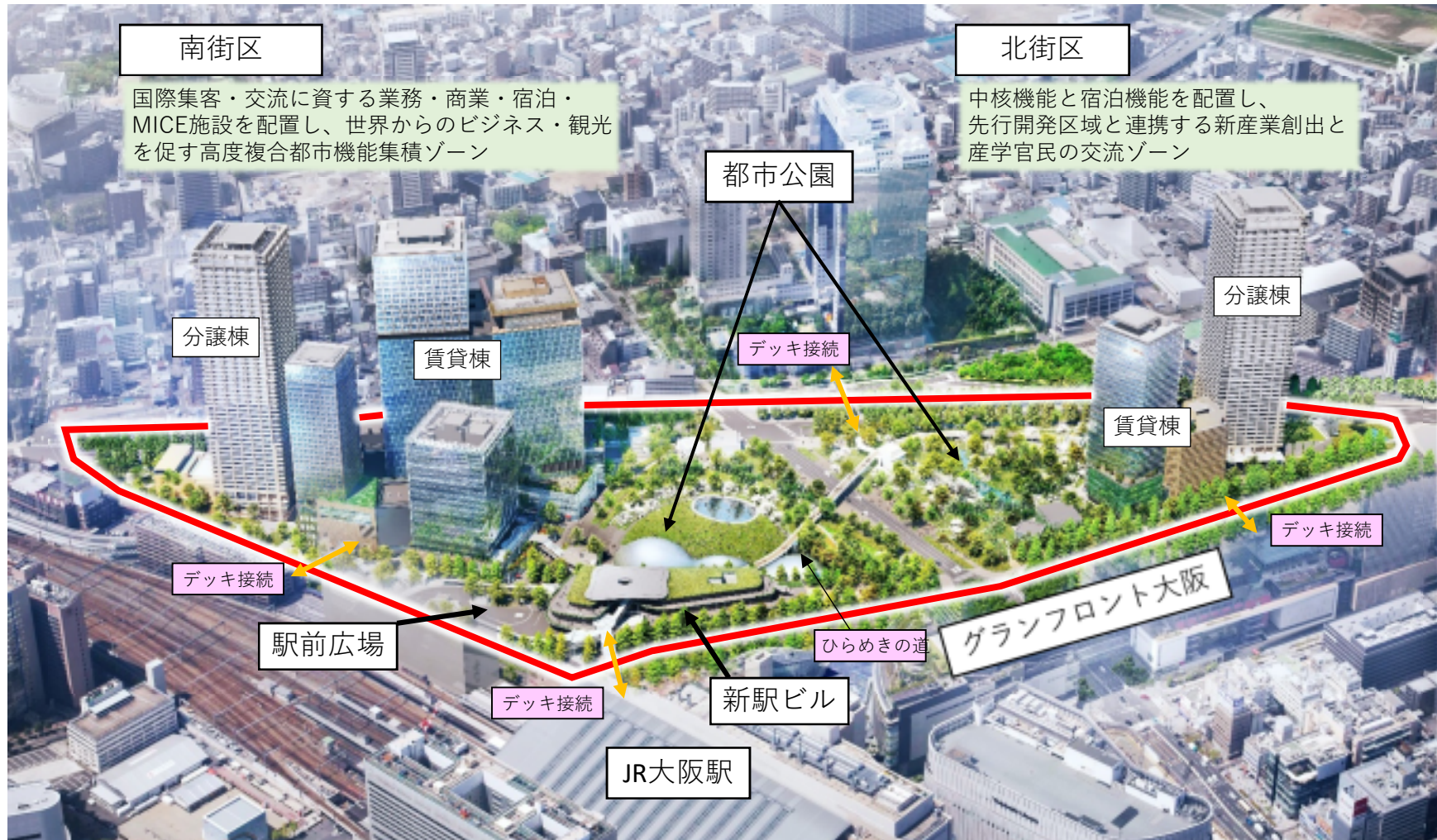
夢洲・咲洲地区



うめきた2期の開発事業者の提案概要

2018年7月 三菱地所（株）を代表者とするグループに事業者決定

■コンセプト：希望の杜 - Osaka "MIDORI" LIFE2070の創造 -

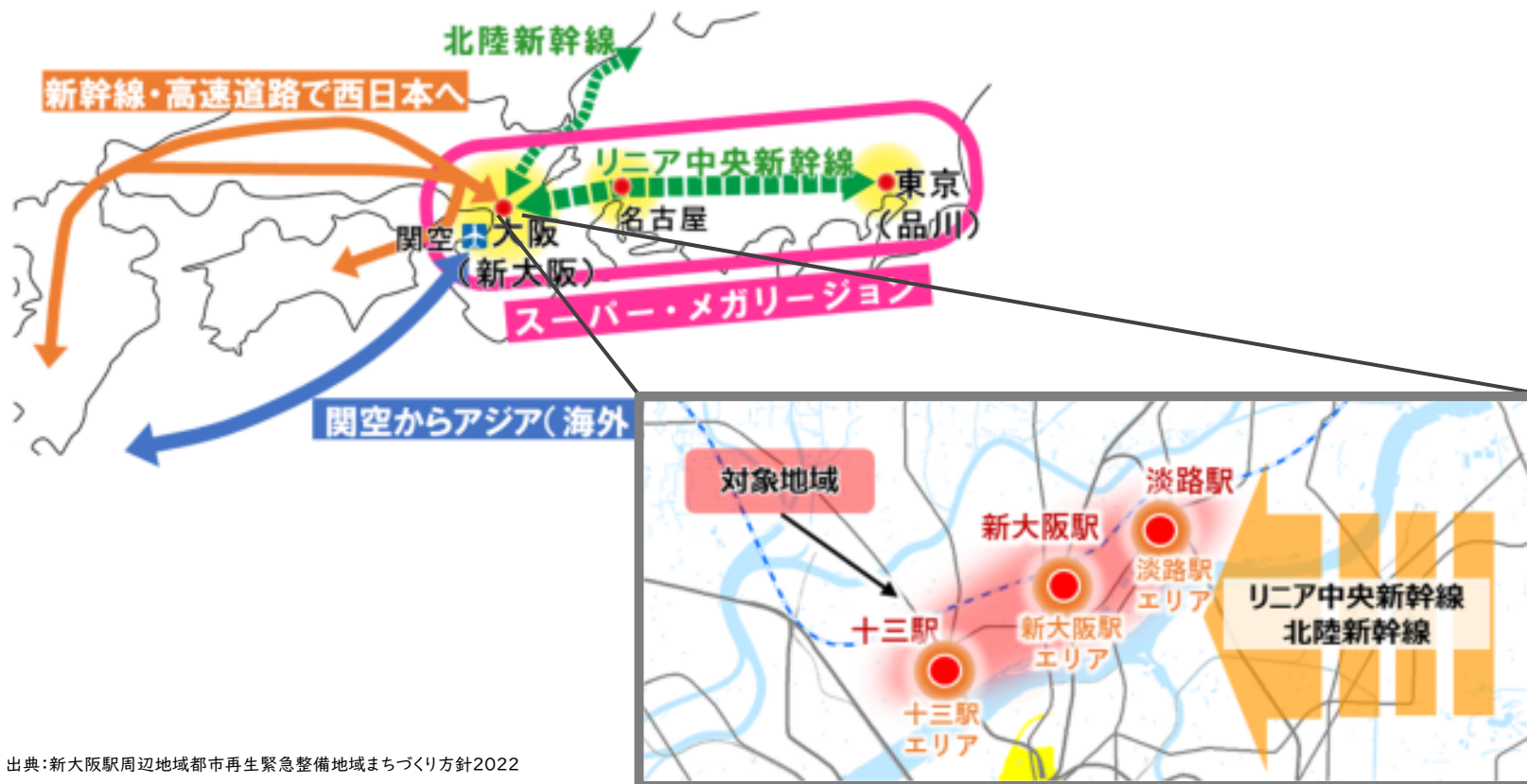


※うめきた2期開発事業者の2022年5月時点のイメージパースを一部加工

【新大阪駅前地区】 まちづくりの検討

検討の経過

- 2018(H30)年8月 国による都市再生緊急整備地域候補地域の位置づけ
- 2019(R4)年10月 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会の設置
- 2019(H31)～2022(R4)年 検討協議会の開催（計7回）
- 2022(R4)年6月 新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022 策定
- 2022年7月 国に対して、都市再生緊急整備地域指定の申出
- 2022(R4)年10月 新大阪駅前地区が都市再生緊急整備地域に指定



出典：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022

【新大阪駅前地区】まちづくり方針2022 新大阪駅エリア計画編

○まちづくりの基本的な進め方

都市機能の向上を図るゾーンの価値向上により、まわりへの波及効果（人の定着の促進や関連機能の集積など）に期待

（都市機能の向上を図るゾーン）
 駅とまちが一体となって質の高い機能の集積と居心地がよく歩きたくなるまちなかを形成

都市再生緊急整備地域
 （令和4年10月28日指定、面積：114ha）



（民間都市開発プロジェクト）
 ○大規模な敷地の民間都市開発など
 ・質の高い機能の導入
 ・魅力ある低層部の創出
 ・まちの景観の向上
 ・交通、環境、防災性の向上など

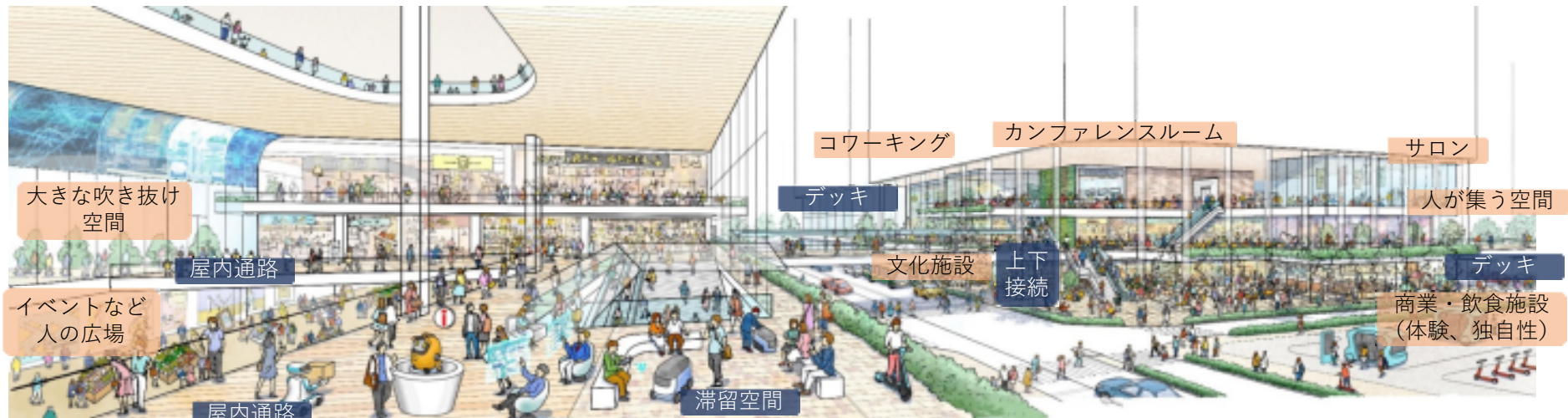
（新幹線新駅関連プロジェクト）
 ○広域交通結節施設
 人の空間・高速バス等の強化など
 ○駅とまちをつなぐ歩行者動線
 駅中心の6方向への人の動線
 ○大規模交流施設
 広域から人を集める交流機能など
 ○新大阪連絡線 新駅ビル開発
 十三方面アクセスと都市機能の向上
 ※新幹線新駅の位置を踏まえて検討を具体化

出典：新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022

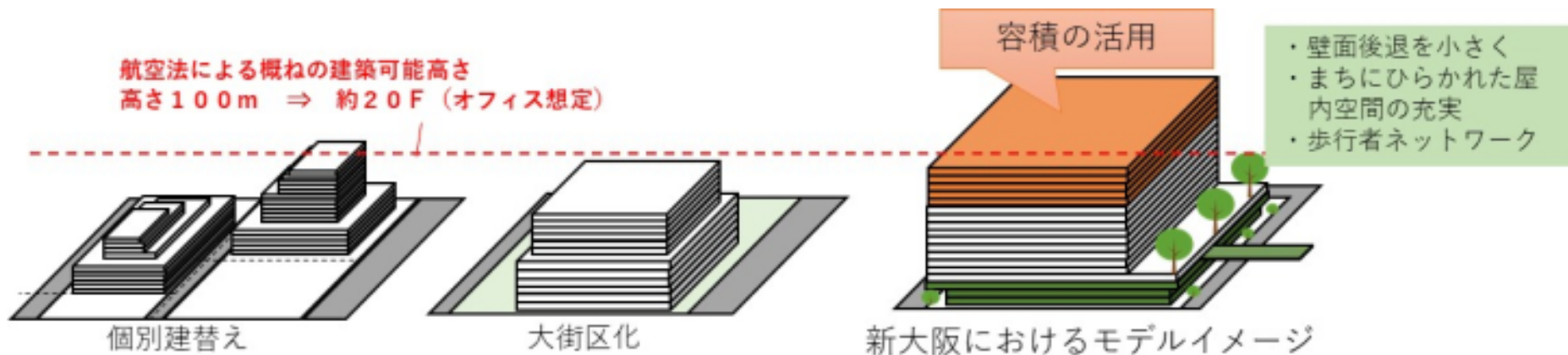
【新大阪駅前地区】 民間都市開発への期待

民間都市開発への期待

出典:新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022



魅力ある低層部のイメージ (例)



大街区化などによる敷地統合と航空法制限下での容積を活用した
新大阪駅エリアのモデルイメージ

【大阪城東部地区(森之宮北地区)】



【大阪城東部地区(森之宮北地区)】 ～コンセプト～

コンセプト 大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ

新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち

コンセプトを具体化する戦略

1. まちにひらかれ、まちとともに成長する

「次世代型キャンパスシティ」

- ・都心立地を活かし、住民開放・産学官民連携・国際交流などの機能を有する新大学を核としたまち
- ・新大学が先導役となり、まちの成長を牽引し、まちの課題を解決しながら発展するまち

2. 健康医療・環境等の既存資源を活かした

「スマートシティの実証・実装フィールド」

- ・豊富な水・緑、供給処理施設を活かしたスマートエネルギーの実証・実装や、基盤整備を伴う大規模なまちづくりを活かしたスマートモビリティの実証・実装フィールド
- ・大学と、健康医療機関、UR、企業等が連携し「健康寿命の延伸」「QOLの向上」「住み続けられる住環境の形成」に先導的に取り組むまち

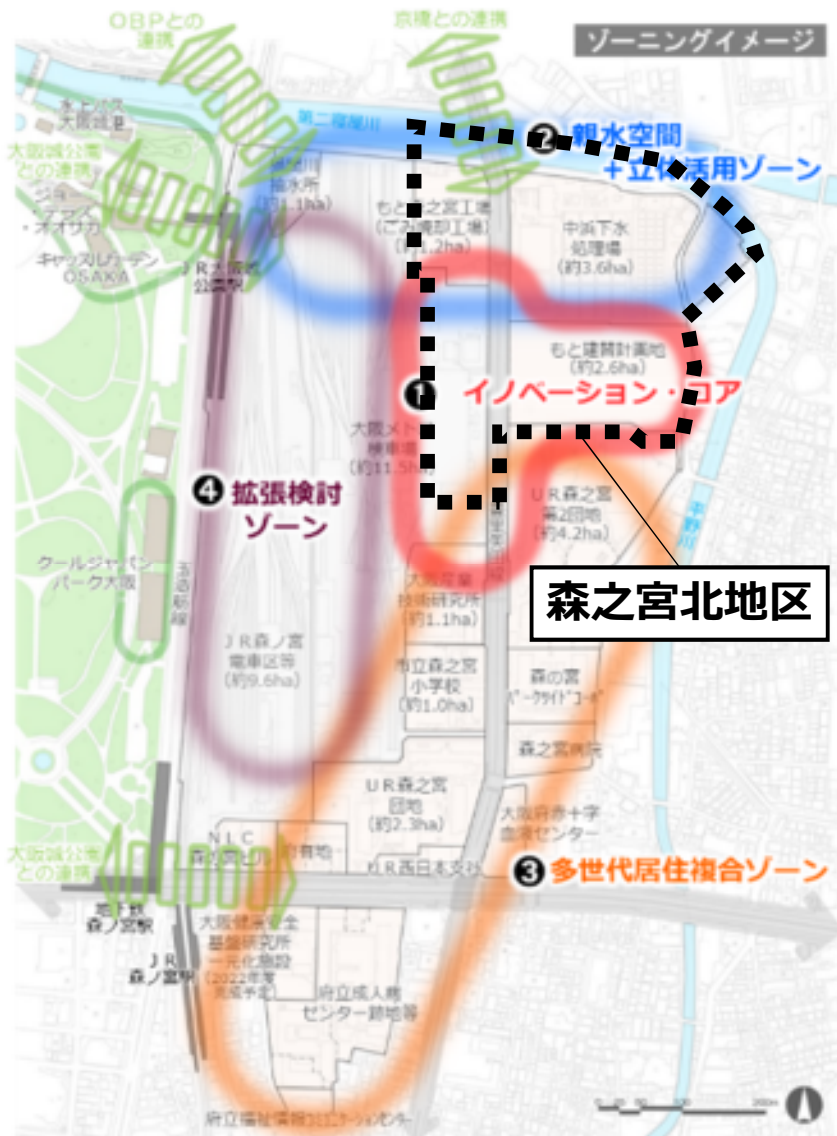
3. 多様なひと、機能、空間、主体が交流する

「クロスオーバーシティ」

- ・多様な世代、国籍、目的の人々(学生、住民、就業者、観光客)が集い交流するまち
- ・職住遊学などの多様な機能が重層的に集積し、互いに相乗効果をもたらすまち
- ・大阪城公園の緑や水辺空間と一体的に、公共的空間と民間空間が調和した、デザイン性のあるまち
- ・産学官民の多様な主体が連携し、エリアマネジメントを展開するまち



【大阪城東部地区(森之宮北地区)】 ～都市計画決定までの経過～



出典：「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を一部追記

- 2019年8月 「新大学基本構想（公立大学法人大阪）」
・方針：新大学（大阪府立大学・大阪市立大学 統合）の
都心メインキャンパス（森之宮）を整備
- 2019年12月～2020年3月
「大阪城東部地区まちづくり検討会」開催
- 2020年9月 「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」策定
- 2020年9月 都市再生緊急整備地域（森之宮周辺）指定
- 2021年9月 **森之宮北地区地区計画（再開発等促進区）**決定
・土地利用転換や機能更新とあわせた土地の高度利用

森之宮北地区 区域図

【地区計画の概要】A地区から段階的に整備を図る

■ **土地利用に関する基本方針など**

A地区：大学、業務、商業等
 B地区：業務、商業、宿泊、居住・健康医療機能等
 C地区：業務、商業等
 D地区：下水処理場の上部利用等

- 2025年4月 **大阪公立大学
森之宮キャンパス(1期)
開所予定**



提供：公立大学法人大阪

- 2025年以降 **（できるだけ速やかに）
1.5期のまちづくりを推進**



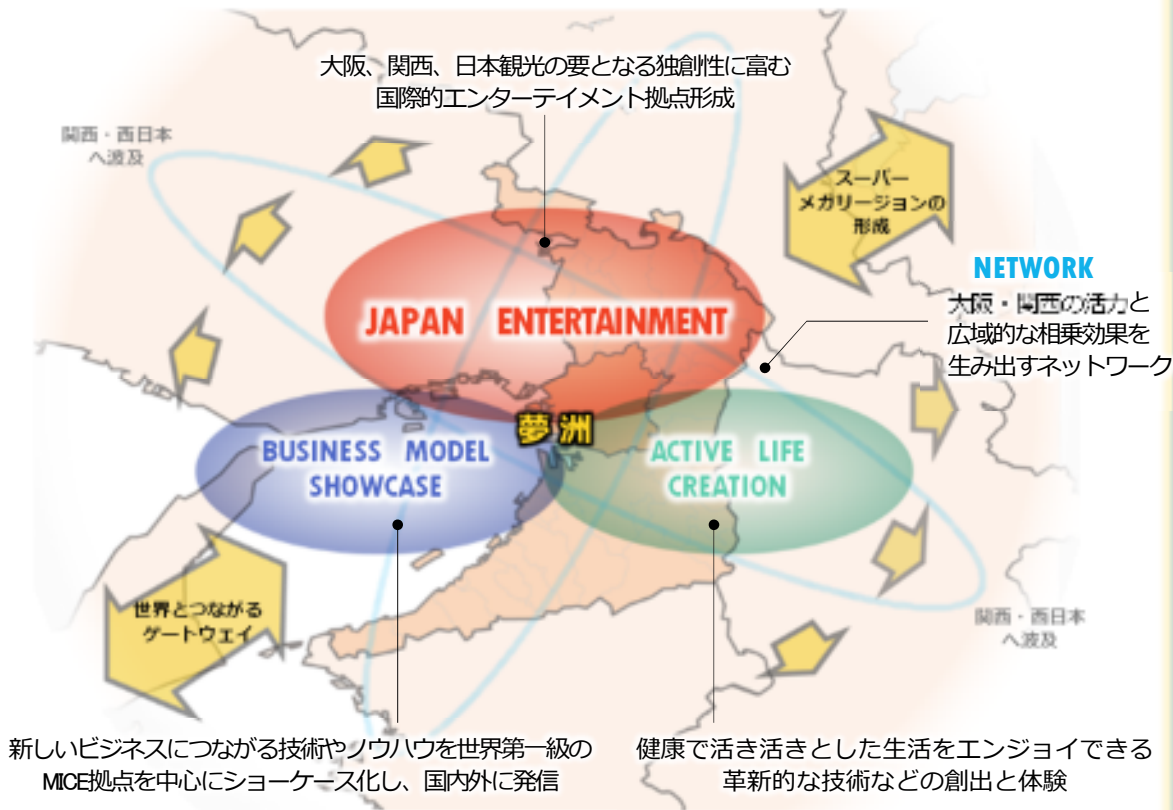
提供：大阪城東部地区まちづくり関係者

【夢洲・咲洲地区】～夢洲まちづくり構想（2017年8月策定）～

【コンセプト】

SMART RESORT CITY 夢と創造に出会える未来都市

【拠点形成のための都市機能】



【まちづくりの方針】

土地利用

- ▶世界で存在感を発揮する
まちづくり

都市基盤

- ▶確かな技術に支えられた
スマートなまちづくり

環境共生

- ▶地球・自然環境共生とスマー
ト技術の融合による先進的で快
適な環境形成

空間デザイン

- ▶アーティスティックなデザイ
ン、上質で快適な空間形成

【支えるしくみ】

安全・安心

- ▶24時間ホスピタリティと
安心感に包まれるまちづくり

運営・育成

- ▶民が主役のまちづくり

【夢洲・咲洲地区】 ~夢洲まちづくり基本方針（2019年12月策定）~

【土地利用の方針】

【第1期(70ha)】

統合型リゾート（IR）を中心としたまちづくり

魅力的なエンターテインメントの集積、国際競争力を有するMICE施設の整備やICT等最先端技術を活用したスマートなまちづくりによる国際観光拠点を形成する。

《導入施設》 ■国際会議場および展示施設 ■魅力増進施設
■送客施設 ■宿泊施設 等

【第2期(60ha)】

万博の理念を継承したまちづくり

大規模なエンターテインメント・レクリエーション機能や万博の理念、最先端の取り組み及び第1期において創出されたにぎわいを継承したまちづくりを進めることで、第1期のまちづくりと合わせて国際観光拠点機能の更なる強化を図る。

《導入機能例》 ■大規模エンタメ・レクリエーション機能 ■宿泊機能
■最先端技術・研究などの実験・実証情報発信機能 等

【第3期(40ha)】

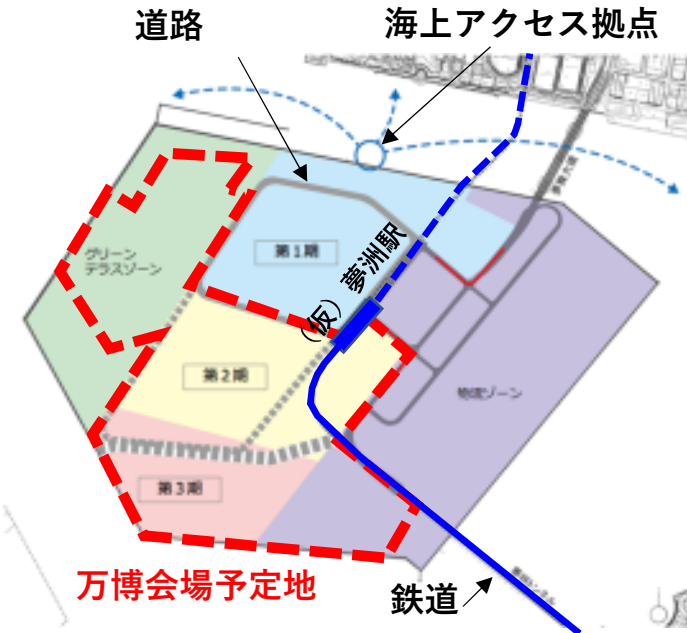
第1・2期の取り組みを活かした長期滞在型のまちづくり

第1、2期で創出・醸成されたエンターテインメントや最先端技術等により、健康や長寿につながる長期滞在型の上質なリゾート空間を形成する。

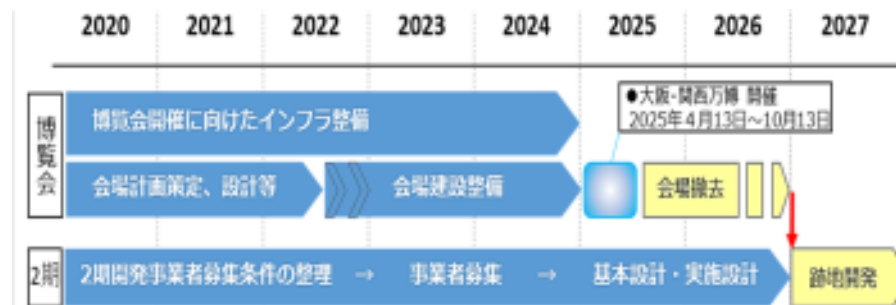
《導入機能例》

■第1期及び第2期に導入される機能（エンターテインメント、産業・ビジネスなど）の拡充
■長期滞在型リゾート機能 ■ウェルネスツーリズム 等

【インフラ等の整備計画】



【想定スケジュール（年度）】



次期近畿圏広域計画に向けて

広域連携の必要性

事例として

- ・ 淀川筋を軸とした連携
- ・ 瀬戸内～淡路島～大阪湾ベイエリア～伏見／京都～琵琶湖

【水上交通を活用したまちづくり】

出典：大阪広域ベイエリアまちづくり ビジョン(案) を加工して作成

